

全公務員試験対応



最短合格
公務員のライト

最強の 公務員試験対策

最強
シリーズ

論文・作文

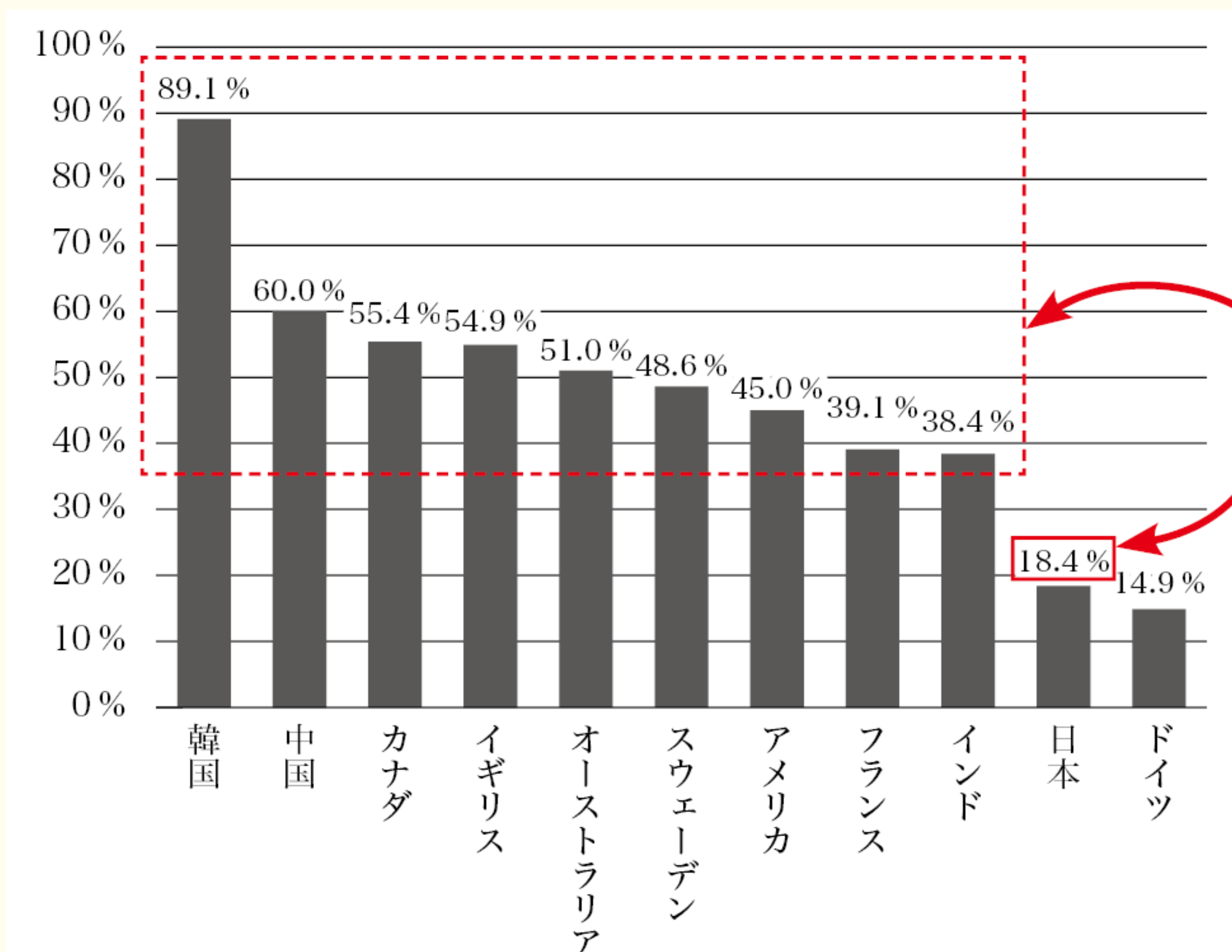
公務員のライト

3 資料から読み取る方法

- 近時の傾向では、問題文に2～3個の「資料」がありますが、試験で求められる読解力は、あくまで一般的な受験生が試験時間内で読み取れる程度です。必要以上に資料を深読みしたり、特別な視点から解釈をする必要はありません。
- 試験では、制限時間内で可能な限り**全ての資料**を参考にしてください。また、「**資料①では～**」や「**資料①からわかるように～**」といったように、採点官がどの資料を参考にしたのかわかるように書きましょう。
- それでは、資料から読み取る方法について見ていきましょう。

● 諸外国との比較から日本の課題を読み取る（2019年過去問）

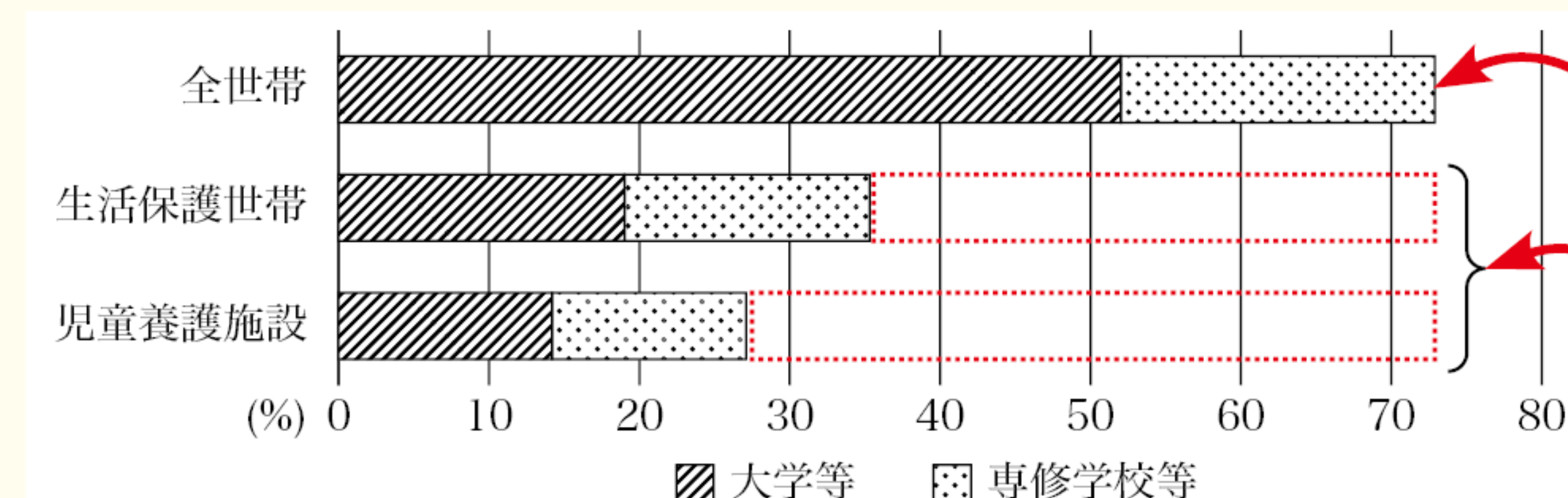
資料① 各国のキャッシュレス決済比率の状況（2015）



- この資料からは、キャッシュレス決済比率の状況について、諸外国の数値と比べて、日本の数値が著しく低くなっており、日本では、キャッシュレス決済があまり普及していない状況がわかります。
- 特に、韓国や中国という同じ東アジア諸国とは大きな差があり、経済発展のためにキャッシュレス決済比率を高めることの必要性が読み取れます。

● 数値の差から問題点を読み取る（2021年過去問）

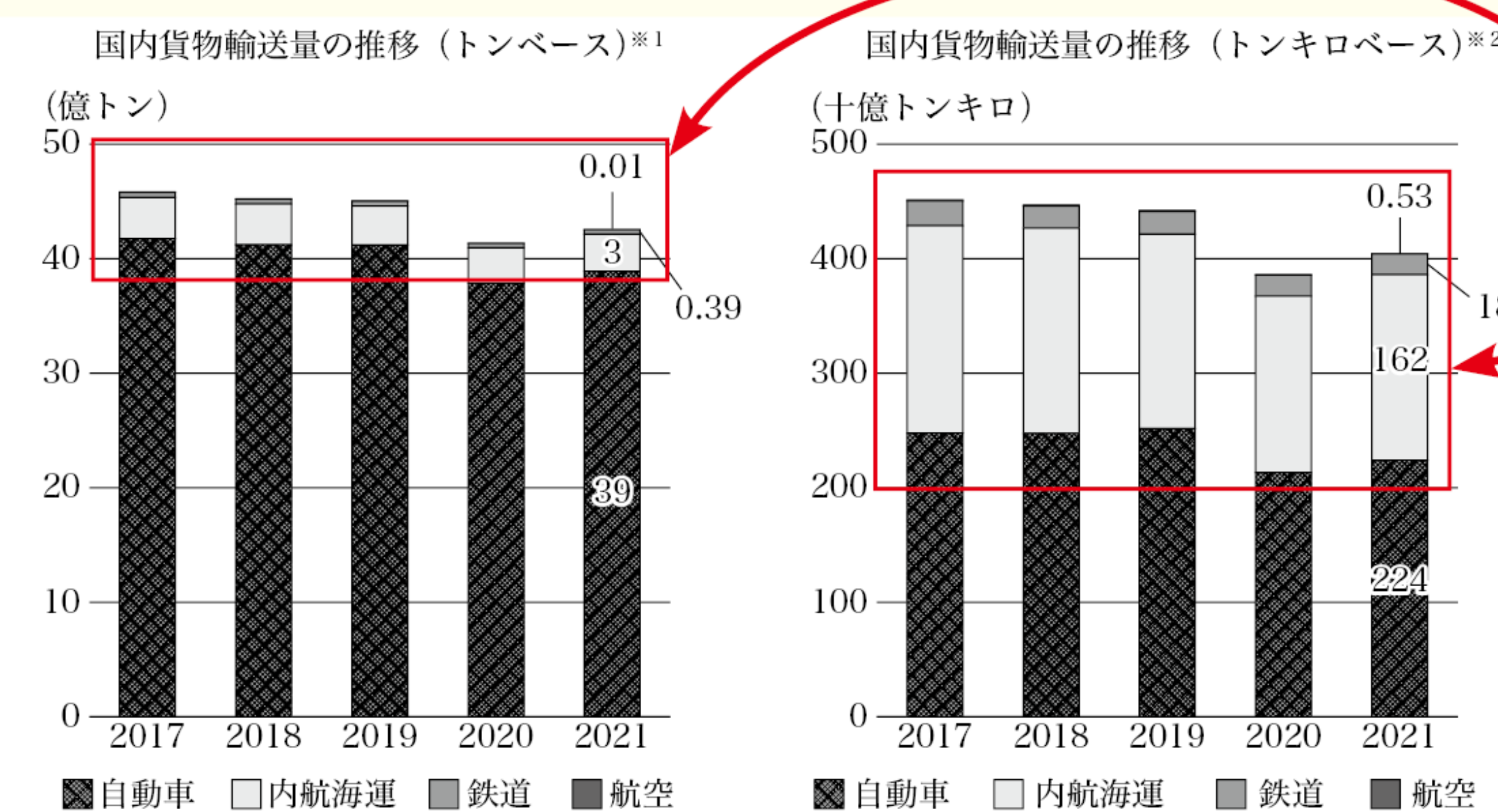
資料② 子どもの大学等進学率の内訳（2017年）



- この資料からは、子どもの進学率について「全世帯」では7割以上となっているのに対し、「生活保護世帯や児童養護施設などの貧困世帯」では3割程度と低いことから、貧困世帯の進学率が極めて低いことがわかります。このような「教育格差」が子どもの就職等の選択肢を狭めてしまっている可能性があることが推察できます。

● 指標の違いに着目して状況を読み取る（2024年過去問）

資料① 国内貨物のモード別輸送量



- 左のグラフは、トンベース（どれだけの貨物の重さが運ばれたかを見る指標）であり、右のグラフはトンキロベース（貨物の重さに輸送距離をかけ、どれだけの「輸送仕事量」があったかを見る指標）となっています。
- 国内貨物輸送量に占める内航海運の割合は、左のグラフでは小さいですが、右のグラフでは非常に大きくなっています。このことから、長距離輸送では、内航海運での輸送が重要になっていることが読み取れます。

2 事前に準備しておくこと

● 自治体のビジョン・指針を確認しておく

- まずは、自治体のサイトなどで、自治体の掲げる「**ビジョン**」や「**指針**」を確認しておきましょう。自治体の「**ビジョン**」とは、その自治体が将来的に目指す姿や、住民の生活をどのようにしたいかという長期的な展望を示したものです。そして「**指針**」とは、ビジョンを実現するための具体的な手段のことです。
 - 自治体のサイト内で「〇〇市（自治体名）ビジョン」というキーワードで検索したり、サイトのトップページから、「行政情報」、「計画」、「県政（市政）情報」などのカテゴリーを調べてみてください。
- **重要なデータを準備しておく**
- 自治体のサイトなどで、「**重要なデータ**」を調べておくと、課題の現状や背景を述べるときに引用することができ、高評価につながります。

現在、日本では少子高齢化が急速に進み、2008年をピークに総人口は毎年減少している。そして、A市の高齢化率は●●%と国より高い水準である。一方で、合計特殊出生率は●●%と国より低い水準であり、少子高齢化の進行は深刻な状況にある。
--

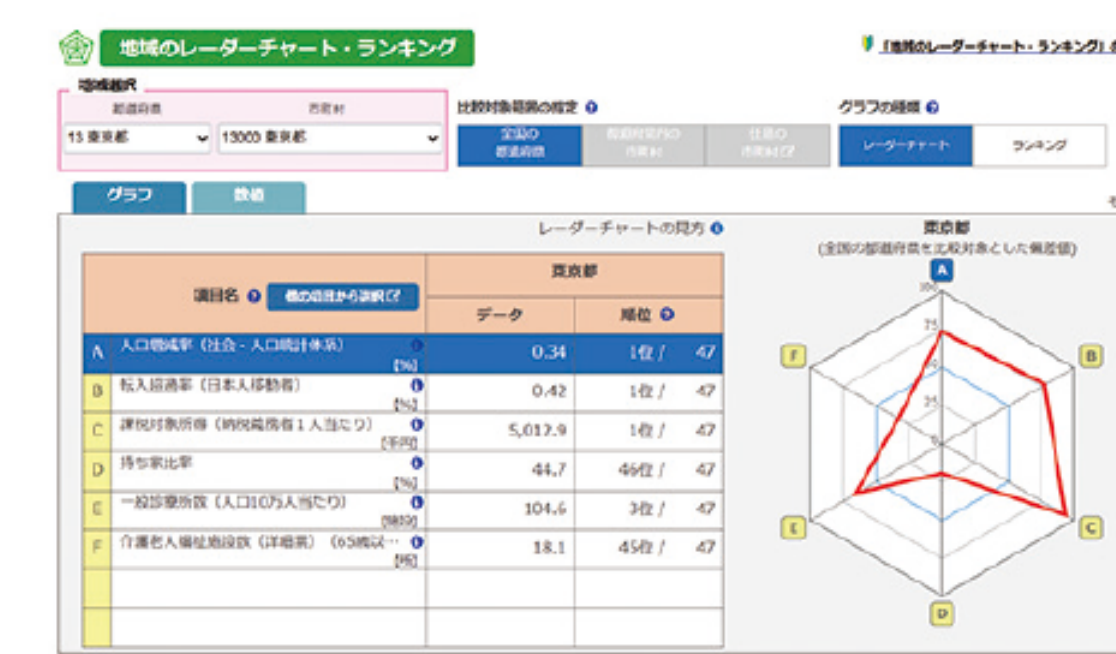
- 地方上級の論文試験で、事前に調べておくと役に立つ「**重要なデータ**」には、以下のようなものがあります。

人口減少	人口減少数、生産年齢人口
少子化	合計特殊出生率、待機児童数
高齢化	65歳以上の人口割合、高齢者のいる世帯数
災害対策	首都直下地震や南海トラフ地震などの被害想定範囲
女性の活躍	女性管理職の割合、男性の育児休業取得率
多文化共生	外国人居住者数、外国人観光客数

● 便利なサイトを活用してみる

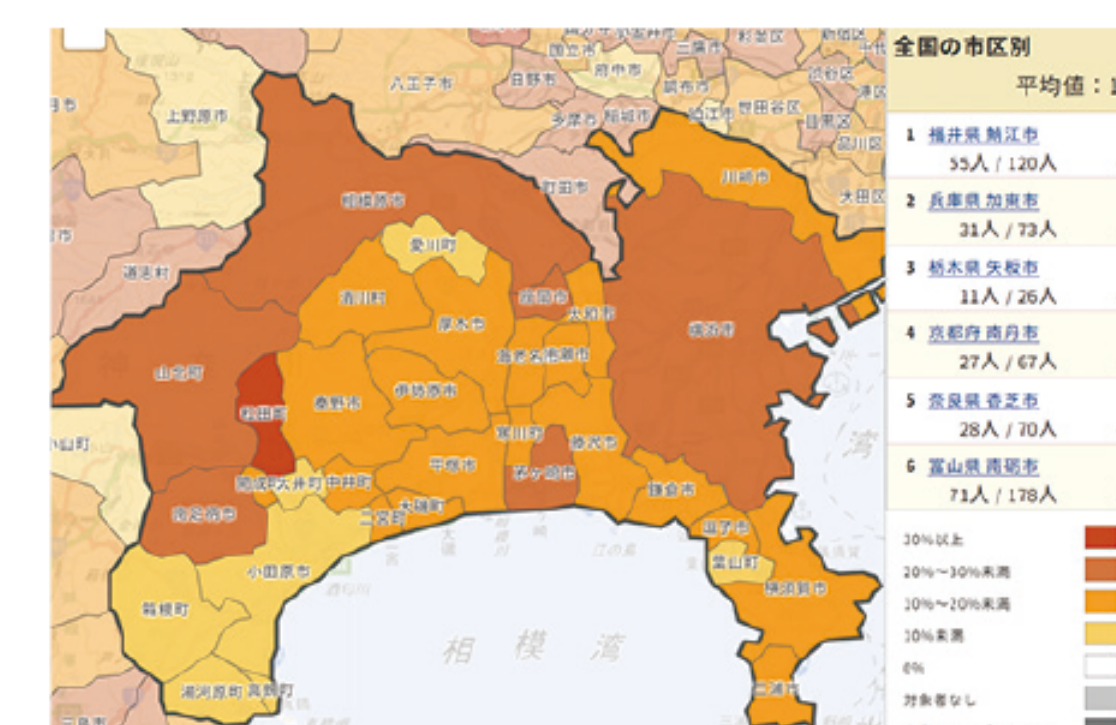
統計ダッシュボード（総務省統計局）

全国や自治体の人口増減率、転入超過率などを調べることができます。特に、地域のレーダーチャート・ランキングで、各項目での自治体の順位を確認できます。



市区町村女性参画状況見える化マップ（内閣府）

市区町村ごとに、管理職に占める女性の割合や、男性公務員の育児休業取得率を、ヒートマップで見ることができます。



自治体 DX の取組（デジタル庁）

自治体の業務についてデジタルトランスフォーメーション（DX）の進捗状況が数値化されており、全国レベルで比較することができます。



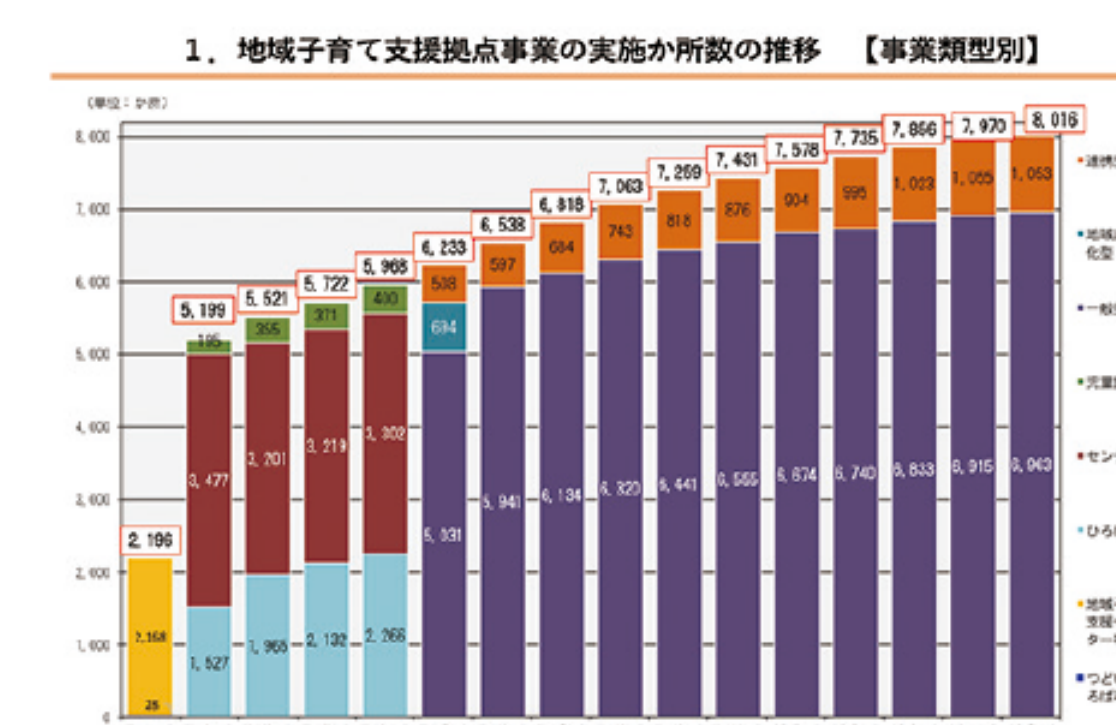
各自治体防災情報（内閣府）

都道府県の防災情報、ハザードマップ、地震被害想定などのサイトを見ることができます。



地域子育て支援拠点事業実施状況（子ども家庭庁）

こども家庭庁が所管し、市区町村が実施主体となっている「地域子育て支援拠点事業」について、実施状況を確認することができます。



3 高評価を取るためのポイント

● 地方自治体職員の立場で考える

- 地域には、様々な信条を持った人や、国籍、年齢、所得、健康状態、家庭環境が異なる人々が生活しています。そのため自治体職員には「**公平・中立**」な立場が求められます。したがって、「政治的なポリシー」や「極端に偏った主張」は NG です。

● 他の主体との「協働」の視点で考える

- 地域の抱える課題は、複雑化・困難化しており、行政の限られた財源と人員で、その全てを解決するのは困難な状況です。そこで、行政だけで地域の課題に取り組むのではなく、**住民、企業、学校、ボランティア**など多様な主体と「**協働**」しながら取り組むことが重要になります。



● 「バランス感覚」を持って多角的に考える

- 「**バランス感覚**」を持って多角的に述べることで、高評価につながります。例えば、自治体の DX を推進すると、利便性の向上や自治体職員の負担減少という「**メリット**」がありますが、その反面、デジタル機器を使えない高齢者が取り残されたり、システムトラブルのリスクなど「**デメリット**」も生じる可能性があります。そこで、このような高齢者に配慮した取組や、セキュリティ対策について言及してみましょう。詳しくは、テーマ⑥を確認してみてください。

● 地域資源を活かした取組を考える

- 文化資源、自然資源、産業資源など、その地域ならではの「**地域資源**」を効果的に活用した取組について述べると高い評価につながります。

地域資源		
	種類	具体例
文化資源	歴史的な建物・遺跡	神社、仏閣、城、古民家など
	地域の手工芸・伝統技術	和紙作り、織物、漆塗り、陶芸など
	地域の特産品・伝統料理	きりたんぼ（秋田）、ほうとう（山梨）など
	地域の祭り・伝統行事	祭り、花火大会、音楽・芸術イベントなど
	アニメ・漫画	聖地巡礼・アニメツーリズム
自然資源	山、川、海、湖、滝、温泉 干潟、サンゴ礁、地下水	- 自然資源を活用した観光 - 再生可能エネルギー（風力・水力・太陽光）を活用した地域産業の振興
産業資源	農林水産業	米、そば、茶、りんご、みかん、いちご、味噌、醤油、日本酒、わかめ、昆布、干物、牡蠣、サンマ、まぐろなど
	工業	精密機械工業、食品加工業など
活用方法	[地域振興] - アニメや漫画作品の舞台となった場所や、作品に関連する施設を訪れる「アニメツーリズム」を推進することで、国内外の観光客を増やす。 - 環境負荷に配慮しながら、地域の環境・文化を体験する「エコツーリズム」を推進することで、環境保全と経済成長の好循環を図る。 - その土地ならではの「食資源」の魅力を楽しめる「ガストロノミーツーリズム」を推進して、「食」のブランディングや、観光事業者と地域の飲食店、生産者、加工業者の連携を強化する。	
	[地域コミュニティの活性化] 地域の祭りでは、若年層が実行委員として企画・運営を行い、高齢層が伝統芸能や衣装作りをアドバイスするなど「世代間交流」を図りながら、地域コミュニティを活性化する。	
	[地域学習・文化学習] 地域の子どもの対象に「体験型の地域学習」によって、地域の歴史・文化・自然・産業について学ぶことで、地域への愛着を醸成し、地域活動やボランティア活動への参加を促進する。	

特別区 I 類の論文試験

1 試験の概要

● 実施方法など

試験日	一次試験日（概ね 4 月中旬から下旬）に実施されます。
試験時間	1 時間 20 分
記入方法	シャープペンシル・鉛筆
字数規定	1,000 字以上・1,500 字程度 多くの合格者は、1,100 ～ 1,300 字程度で記載しており、他の試験と比較しても記載字数が多いです。そのため、事前の対策がとても重要です。
配点	特別区人事委員会では非公表ですが、公務員のライトのアンケート調査によると、 配点比率は非常に高い ことが推定されます。
注意事項	論文の課題は「 2 題 」あり、試験開始後「 1 題 」を選択します。そして、選択した「 課題番号 」を、論文用紙の課題番号欄に記入します。

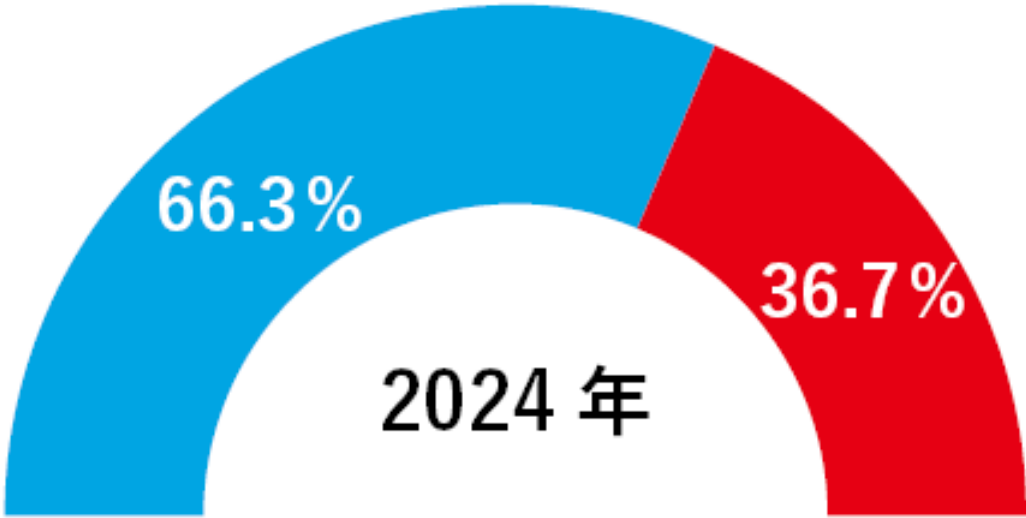
● 出題の傾向

課題①の傾向	• 近年の出題をみると、課題①では、「 限られた行政資源による区政運営 」、「 地方行政のデジタル化 」といった、「 行政運営を行う上での課題 」をテーマにした出題が多い傾向にあります。今後も、行政運営のデジタルトランスフォーメーション（DX）に関連したテーマから出題される可能性が高いので、しっかりと準備をしておきましょう。
課題②の傾向	• 課題②では、「 地域の防災力強化 」、「 地方コミュニティの活性化 」といった、「 地域社会の課題 」をテーマにした出題が多い傾向にあります。そのなかでも特に、少子化・高齢化に関連する課題が多く出題されていますので、これらの分野をしっかりと準備をしておきましょう。

● 受験生の選択アンケート結果

- 2025 年は「**小問②**」、2024 年は「**小問①**」を選択した受験生の割合が高く、**頻出テーマ**を選んだ受験者が多いようです。

① カスタマーハラスメントの防止	10.4%	① 地方行政のデジタル化	63.3%
② 地震に対する防災力の強化	89.6%	② いじめ・不登校対策	36.7%



● 過去問テーマの概要

年度	テーマの概要（2 題から 1 題を選択）	
2025 年	1	カスタマーハラスメントの防止
	2	地震に対する防災力の強化
2024 年	1	地方行政のデジタル化
	2	いじめによる不登校対策
2023 年	1	若年層に伝わりやすい行政情報の発信
	2	地域活動での担い手不足解消のための人材活用
2022 年	1	限られた行政資源による区政運営
	2	地域コミュニティの活性化
2021 年	1	区民ニーズに即した魅力的な公共施設のあり方
	2	食品ロスや廃棄物の縮減と資源リサイクルの推進
2020 年	1	先端技術を活用した区民サービス
	2	都市における地域の防災力の強化
2019 年	1	外国人の増加に伴い生じる新たな課題
	2	認知症高齢者への対応
2018 年	1	住民との信頼関係の構築
	2	子どもの貧困問題
2017 年	1	地域の安全や活力に影響を及ぼす空き家問題
	2	女性の活躍推進

セクション

3

「行政」の基本知識

1 「官公庁」と「民間企業」の違い

- 論文試験だけでなく面接試験でも重要となるのが「**官公庁**」と「**民間企業**」の違いです。ポイントをまとめていますので、しっかりと押さえておきましょう。

	官公庁	民間企業
目的	国・地域の「 公益 」を追求 国民生活や社会全体の安全・安心という「 公共の利益 」を追求	自社の「 利潤 」を追求 顧客のニーズを満たしながら利益を生み出し「 自社の利潤 」を追求
業務内容	公共財・公共サービスの提供	商品・サービスの提供
財源・資金	税金 ・公債 景気に左右されにくく、 安定性が高い ため、大規模・長期的な計画になじみやすい。	販売収益 、融資・投資資金 景気の影響受けやすく 安定性が低い ため、大規模・長期的な計画にはなじみづらい。
ニーズの捉え方	国民や住民のニーズに対して「 お金（税金）を使う 」 したがって、法令に基づいて 公平・中立 に公共財・行政サービスを提供し、安全で暮らしやすい国や地域をつくる必要がある。	顧客のニーズをもとに「 お金を稼ぐ 」 したがって、商品・サービスを市場に提供し、競争を通じて 効率性・経済性 を高めながら、自社の利潤を高めていく必要がある。
重視される価値	公平性・中立性	効率性・経済性
職員・社員に必要な資質	みんなの「税金」を公平・中立に使う立場にある。よって、 住民からの信頼が何よりも重要である 。そのため「 規律を守る意識 」や「 公共のために奉仕する責任感 」が必要である。	他社との熾烈な競争の中で、成果を上げていくことが重要である。そのため「 発想力・行動力 」や「 顧客ニーズを的確に捉える柔軟性 」、また「 環境変化に迅速に適応する力 」が必要である。

2 「国」と「地方自治体」の役割の違い

● 「国」と「地方自治体」の違い

	国	地方自治体
基本的な役割	• 全国的なルール、制度、最低限の基準など「 大枠 」を作る。 • 各自治体間で生じる「 格差を是正 」する。	• 「 地域の実情 」を考慮しながら、国が作った「 大枠 」(ルールや制度)を、実際の住民生活に落とし込む。
イメージ	国が「 設計図をつくる 」	自治体が「 実際に建物を建てる 」
重視する価値	「 全国一律性 」を重視する。	「 地域の実情 」を重視する。 ※詳しくは、 下図で解説
具体例	教育	学習指導要領の策定 教員免許制度の整備
	防災	災害関連法の制定 大規模災害への緊急支援
	福祉	年金・医療保険制度の設計・整備 生活保護の実施 介護サービス等の提供

● 「地域の実情」について

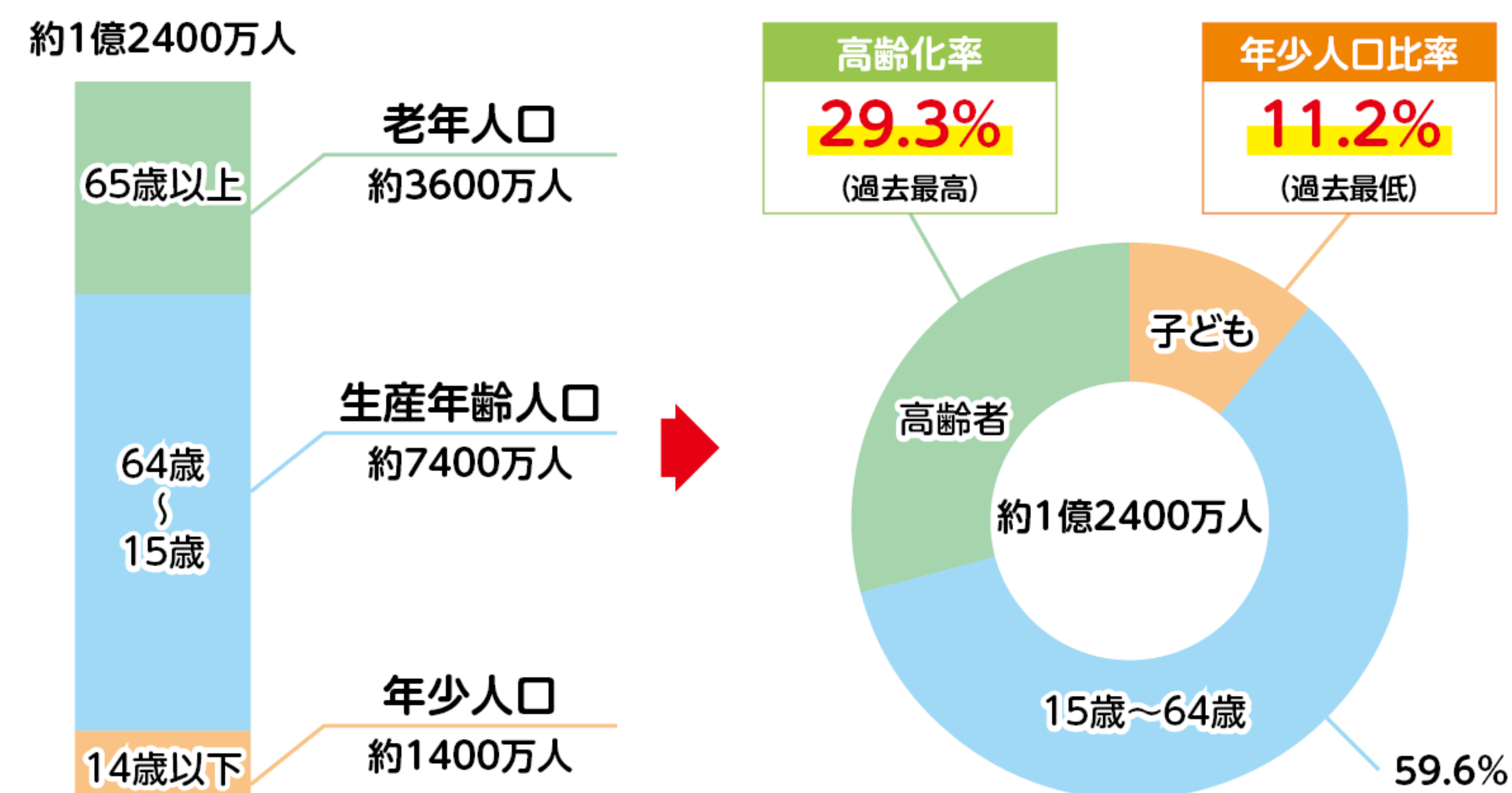
- 「**地域の実情**」とは、その地域特有の課題やニーズのことをいいます。簡単に具体例を確認しておきましょう。

分野	地域の特徴	地域の実情を踏まえた取組
高齢者福祉	高齢層が多い地域	高齢者を対象に、デイサービスや買い物支援サービスの充実させる取組
	若年層が多い地域	幅広い年齢層を対象に、介護予防事業や健康づくりイベントなどの取組
教育・子育て	少子化が進む農村部	小・中学校の統廃合を進めたり、ICT教育や複式学級など、 教育の質を維持する取組
	子育て世代が多い都市部	保育所や放課後児童クラブの増設、病児保育の導入など、 子育て支援を充実させる取組

高齢社会対策のポイント

高齢化の現状について

- 「**高齢化率**」とは「**総人口に占める65歳以上の人口割合**」のことであり、高齢化率によって、日本の高齢化の現状を知ることができる。



少子高齢化が社会に与える「影響」について

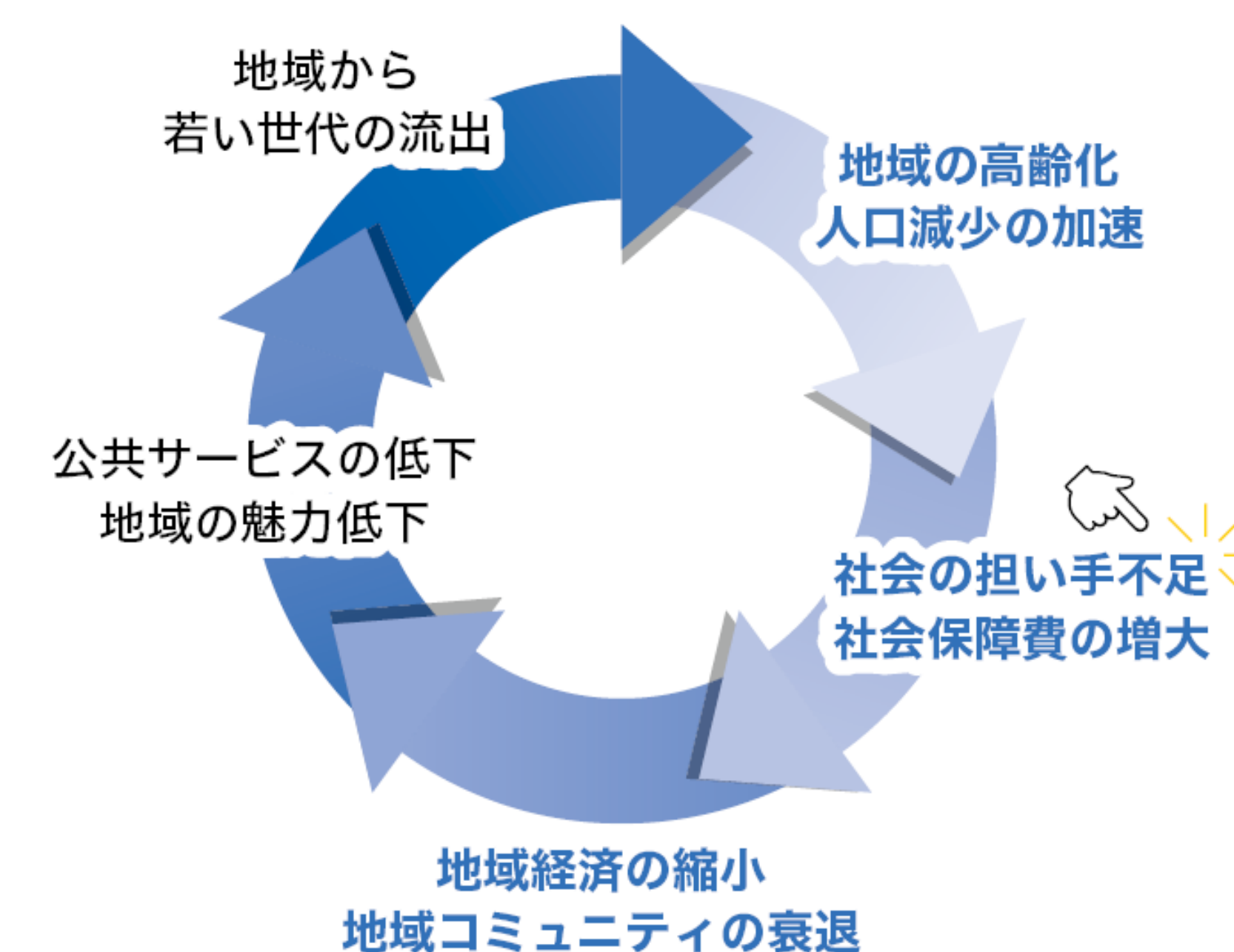
社会保障制度への影響

- 社会保障制度の**持続可能性**という問題が生じる。高齢者1人を支える労働力人口の人数は、1970年は9.8人、2023年は2.0人であったが、2070年には1.3人になると予測されており、**国民1人あたりの負担が増大**している。
- 今後、医療や介護を中心とした社会保障制度での「**給付**」と「**負担**」のバランスが崩壊してしまうおそれがある。

社会経済への影響

- 労働力人口**の減少による**社会の担い手不足**となる。例えば、介護が必要な高齢者が増える一方で、介護職員不足、農家の後継者不足、過疎地でのバスの運転手不足など、様々な分野で人手不足の問題が生じる。
- また、国や自治体の税収が減ることによって**行政サービスの水準が低下**し、少子高齢化は**社会経済全体に重大な影響**を及ぼすことになる。

このままだと負のサイクル…



対策の方向性

高齢者のフレイル予防・社会参加による
健康寿命の延伸

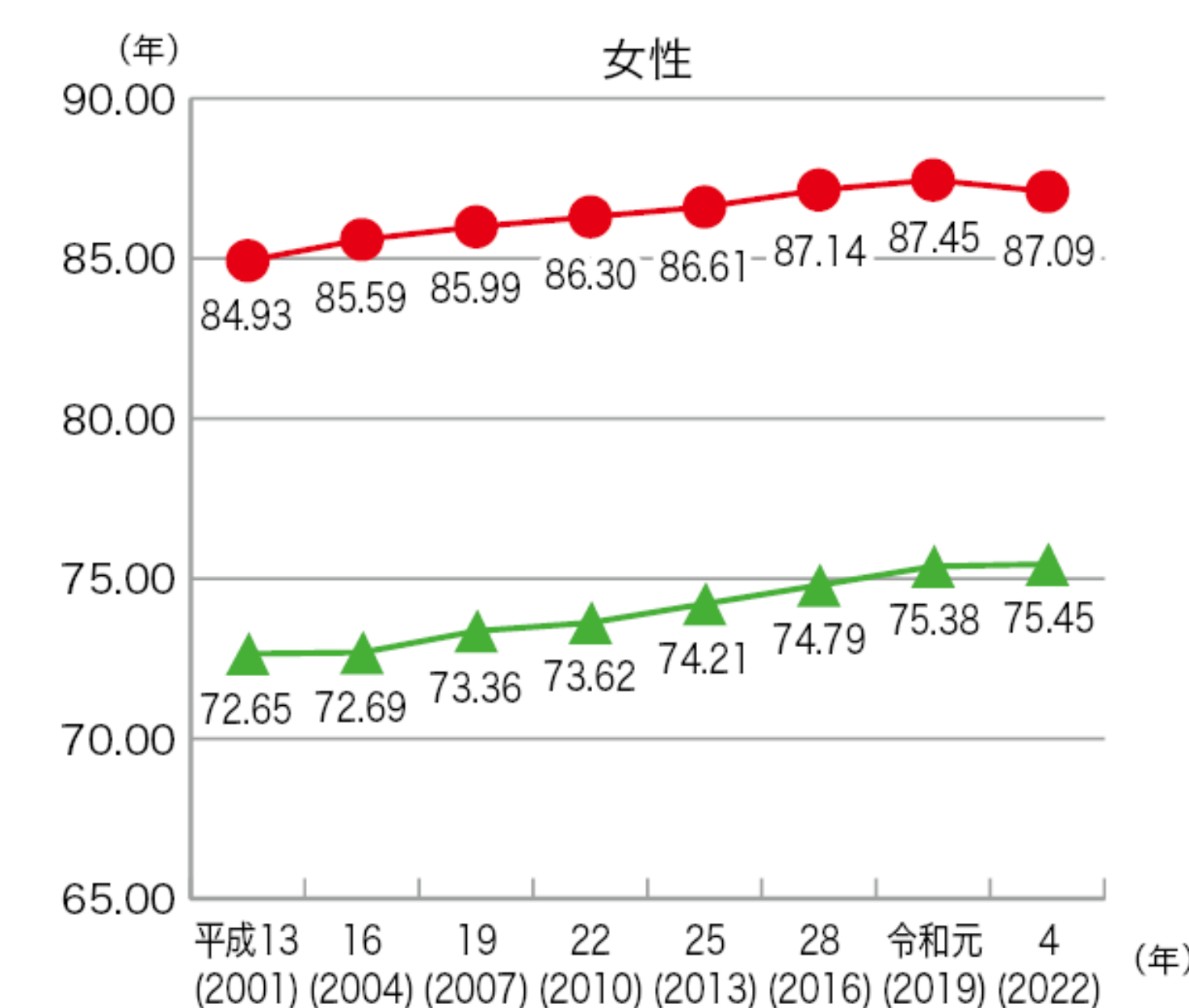
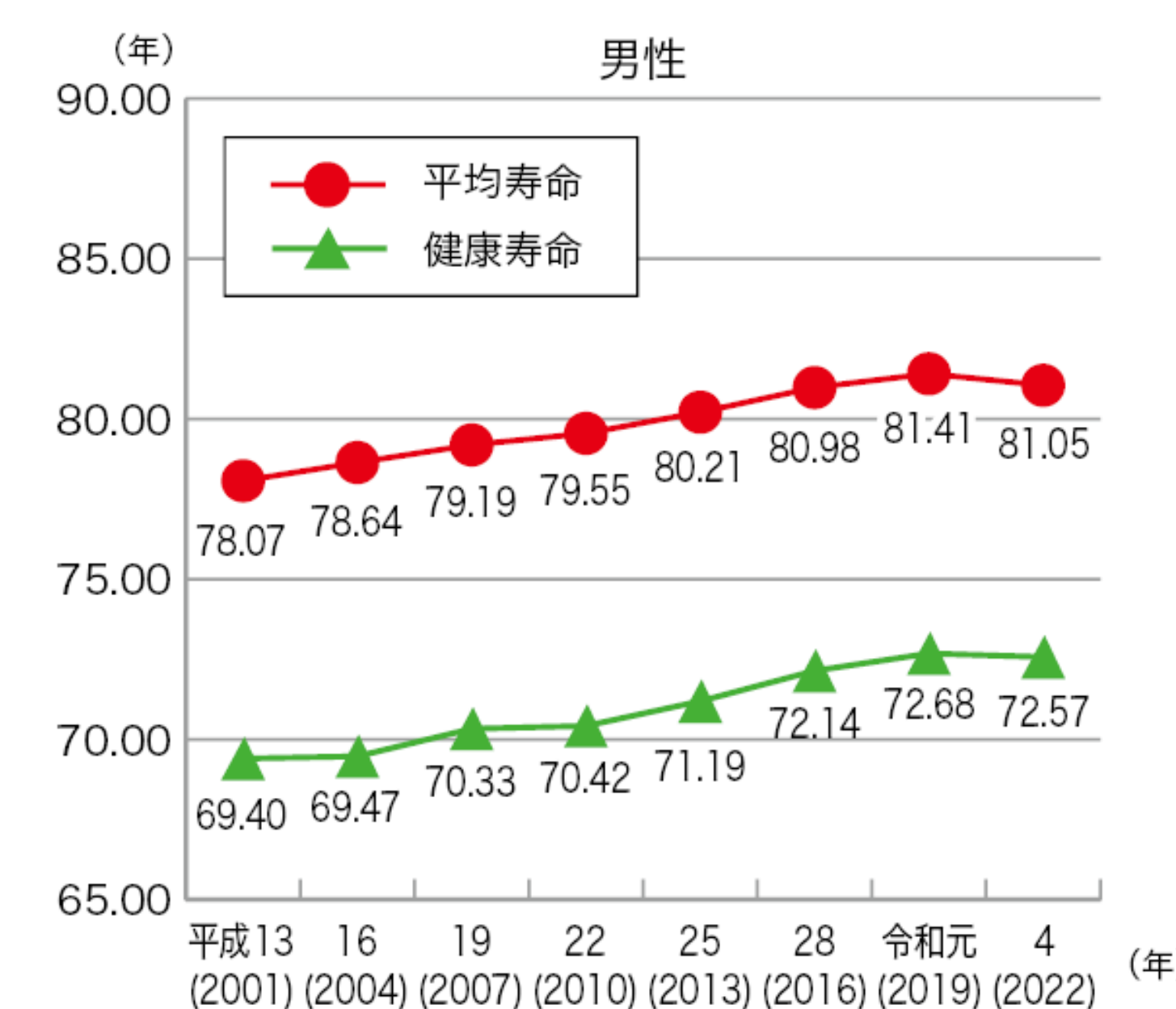
歳を重ねてもいきいきと生活できる
エイジレス社会の実現

介護・医療への
需要を抑え
社会保障支出の抑制

元気な高齢者には
**地域コミュニティの
担い手として活躍**
してもらい
地域を活性化
(担い手不足を緩和)

「健康寿命の延伸」とは

- 「**平均寿命**」とは「生まれてから死亡するまでの期間」のことをいい、他方、「**健康寿命**」とは「介護や寝たきりではなく健康的に生活できる期間」のことをいう。
- 平均寿命**と**健康寿命**の差が**少ない**と、亡くなる直前まで健康に過ごしていたことになる。逆に、**平均寿命**と**健康寿命**に差が**大きい**と、長生きでも介護や入院など不健康な状態が長いことになる。
- 高齢者が歳を重ねても、いきいきと健康で暮らせれば、高齢者の**QOL**（クオリティ・オブ・ライフ）を向上させるだけでなく、**社会保障費の増大を抑制**できるため「**健康寿命の延伸**」が重要になる。



内閣府「高齢社会白書」を元に作成

取組事例

▶「えるぼし認定」【厚生労働省】

厚生労働省は「**女性の活躍**」を推進している企業のうち、その取組実績が優良である企業を「**えるぼし**」に認定している。認定を受けた企業は厚生労働省のホームページに掲載されたり、自社の製品や広告、採用活動において認定マークを使用することができるため、企業ブランドの向上、イメージの向上による優秀な人材の確保が期待できる。



▶「くるみん認定」【厚生労働省】

厚生労働省は「**女性の仕事と子育ての両立**」を推進している企業を「**くるみん**」に認定している。その目的は、ワークライフバランスの実現に取り組み、少子化の流れを食い止めることであり、認定を受けた企業は、上記「えるぼし認定」と同様のメリットがある。



▶とやま女性活躍企業【富山県】

富山県は、女性が活躍しやすい職場づくりを後押しするとともに、「選ばれる企業」としてのブランド力向上と優秀な人材確保を支援するために「とやま女性活躍企業」の認定を行っている。



▶TOKYO パパ育児促進企業登録マーク【東京都】

東京都は、男性社員が当たり前に**育児**をできる職場環境を整備するために、男性従業員の育児取得率を一定割合達成している企業へ「**TOKYO パパ育児促進企業登録マーク**」を付与している。付与を受けた企業は、東京都ポータルサイト内で公表されるとともに、経営者のインタビュー動画等を発信するなど、男性の育児に関する普及啓発を行っている。



「ワークライフバランス」とは

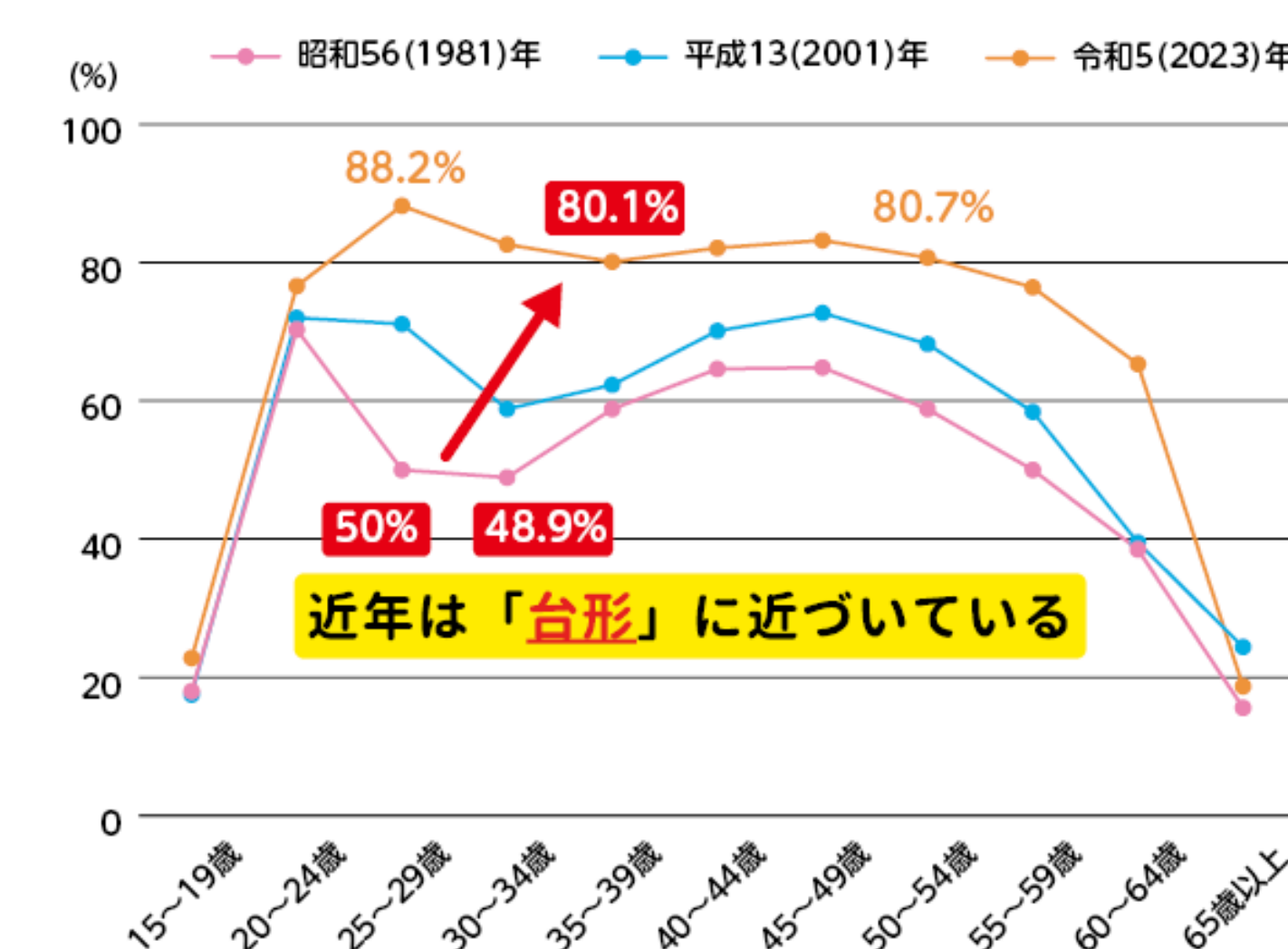
- 「**ワークライフバランス**」とは、全ての労働者が、仕事とプライベートとの調和を図り、その両方で充実しながら、豊かな生活を実現させる働き方や生き方をいう。例えば、時短勤務制度やフレックスタイム制の導入により、働く時間の選択肢を増やしたり、有給休暇、育児休暇、介護休暇を取りやすい環境づくりが取組としてあげられる。



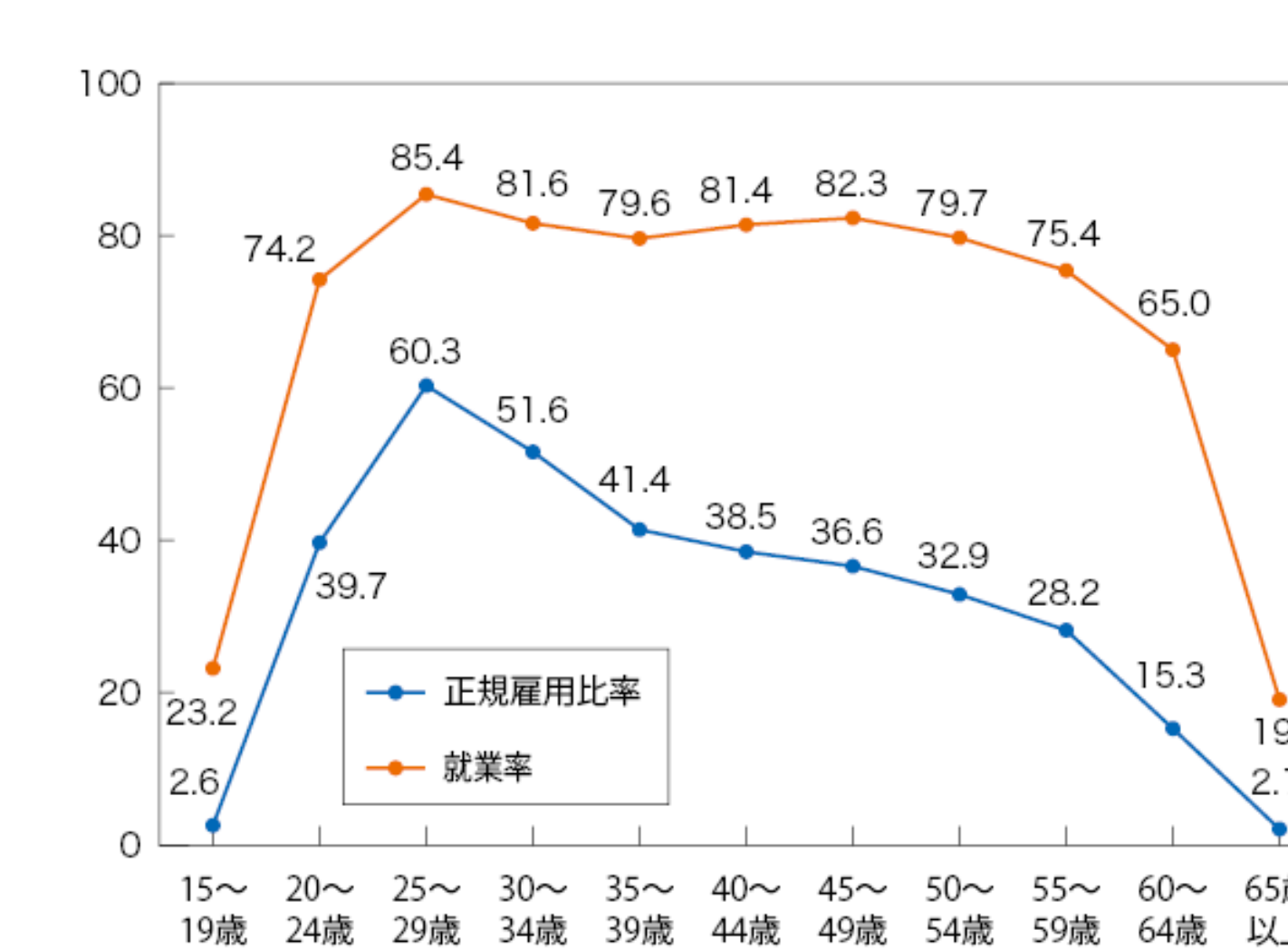
M字カーブとL字カーブ

- 女性の労働力率を年齢階級別に描いたときの形が「**M字**」になることから「**M字カーブ現象**」と呼ばれている。M字カーブ現象は、女性が学校卒業後に就職した後、結婚や出産を機に離職し、育児が一段落したら再度働くことが多いこと、つまり「**仕事と家庭の両立が難しい**」という社会を象徴している現象である。
- 女性の正規雇用比率を年齢階級別に描いたときの形が「**L字**」になることから「**L字カーブ現象**」と呼ばれている。これは、出産・子育てのために女性の正規雇用率は25～29歳をピークに低下する。その後、離職した女性が再度働くときは**正規雇用**ではなくパートやアルバイトなどの「**非正規雇用**」となってしまう場合が多いためである。つまり「**仕事と家庭の両立が難しい**」という社会を象徴している現象である。

M字カーブ



L字カーブ



問題 特別区では、人口の流動化、価値観やライフスタイルの多様化によって地域コミュニティのあり方に変化が生じています。このような状況を踏まえ、地域コミュニティの活性化について、特別区の職員としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを論じなさい。

ブロック①

町会や自治会を基礎とした「**地域コミュニティ**」は、交通安全、防災、防犯、環境美化、地域イベントの運営など、地域社会の安全・安心を守るために、住民同士の「**共助のつながり**」を支える活動をしている。しかし**近時**、町会・自治会への加入率の低下や、役員の高齢化、若い世代の後継者不足などの問題を抱えている。**また**、住民の価値観が多様化していることや、オンラインでのつながりが増えたこともあり、地域コミュニティは希薄になっている。**特に特別区は**、国内外からの人口移動が多く、マンションなどの集合住宅が多いという**特徴**があるため、地域への帰属意識や住民同士のつながりは希薄になりやすい傾向にある。

地域コミュニティが希薄化している現状や背景について触れています。

ブロック②

このような状況のもと、少子高齢化の進行によって特別区の抱える問題は**複雑化・困難化**しており、区の限られた財源と人員で、その全てを解決するのは困難な状況にある。**そこで**、地域の課題に対して「共助のつながり」で支え合いながら補完していくために、三つの分野から地域コミュニティの活性化を図っていく。以下、具体的に述べる。

地域の抱える問題が複雑化・困難化している現状に対して、行政のみの力では解決が難しくなっています。そのため、地域の課題に対して「共助のつながり」で支え合いながら補完していくこと求められており、そのために地域コミュニティを活性化していく必要があります。

ブロック③

第一は、防災コミュニティの活性化である。災害時に行政が即時に対応することは難しく、公助には限界が生じるため「自分たちの地域は自分たちで守る」という**共助**が重要になってくる。**そこで**、各地域での防災コミュニティの活動を後押ししていく。**例として**、中野区では、町会、自治会をベースにした「防災会」と連携して、子どもから高齢者まで気軽に参加できる防災イベントを開催し、起震車による震度体験、初期

地域コミュニティの重要な役割に、災害時に助け合う「共助」があります。詳しくはテーマ④で解説しています。

消火、応急救護、炊き出しなどの訓練を行っている。**このように**、防災イベントを通じた地域の交流によって、防災コミュニティの拡大に取り組んでいく。

第二は、子育てコミュニティの活性化である。**近年**、核家族化の進行により、子育てについて身近に相談できる人や、困ったときに頼れる人が減っている。**その結果**、子育ての悩みを一人で抱え込んで孤立してしまったり、最悪の場合には虐待に至るケースも増えている。**そこで**、地域の子育てコミュニティづくりに取り組んでいく。**例として**、大田区では、子育てサロン「キッズな」を開設しており、そこでは参加者と地域ボランティアで、絵本の読み聞かせや、季節の行事にちなんだおもちゃ作りなどを行っている。**このように**、親同士の交流からママ友など仲間を作ったり、気軽に相談ができる子育てコミュニティづくりに取り組んでいく。

地域コミュニティの重要な役割に、子育て世帯の支援があります。例えば、子どもの貧困（テーマ⑯）や児童虐待（テーマ⑳）については、地域での支援が重要になります。

第三は、シニアコミュニティの活性化である。政府の調査によると、**社会参加**の活動割合が高い地域ほど、認知症やうつリスクが低い傾向にある。**そこで**、フレイル予防、生きがい創造、孤立防止のために、地域での「**通いの場**」の拡大に取り組んでいく。**通いの場**では、地域の特色を活かしながら、運動や体操による健康づくり、趣味による生きがいづくり、コミュニティでの仲間づくりなど「**3つのづくり**」をもとに多様な活動が行われている。**このように**、高齢者のニーズにあった多様なコミュニティづくりを後押ししていく。

地域コミュニティは、高齢者の社会参加活動の場として効果的です。特に、体を動かすことで高齢者のフレイル予防や、趣味を通じた生きがい創造、孤立の防止などに役立ちます。詳しくは、テーマ①で解説しています。

ブロック④

以上を踏まえて、三つの分野について述べてきたが、**今後**、特別区では、子どもを狙った犯罪の増加、外国人住民とのコミュニケーション不足、孤独死の増加など、地域の抱える問題はさらに複雑化することが想定される。**そのため**、「共助のつながり」を強化しながら取り組んでいくことが重要である。

1365字

【行政職】テーマ①

これまでの経験で、あなたが一番努力した経験を挙げて、そこから学んだこと、身に付けたことを述べ、また、それを市役所職員としてどのように活かしていくのか述べなさい。

ブロック①

私が、これまで一番努力した経験は、中学生から現在まで8年間続けてきたサッカー部での活動である。私は、このサッカー部での活動経験を通して、チームワークの重要性を学び、チームワークを高める思考力と行動力を身に付けてきた。そのなかで、私が特に意識して取り組んできたことが三つある。以下、具体的に述べる。

ブロック②

一つ目は、自分の役割に責任を持つことである。私は、重要な大会で、守備面でのチームの約束事を守らずに、不用意なプレーをしてしまい敗戦したことがある。その時は、自分のプレーによってチャンスを作り出せると考えたが、周りとの連携が取れず、逆に失点の起点となってしまった。このように、私の一つのプレーでチームを敗戦させてしまった経験から、チームワークを高めるためには、まずは自分の役割をしっかりと理解し、その役割に責任を果たすことが重要だと学んだ。

二つ目は、積極的にコミュニケーションをとることである。私が所属していたチームでは、守備面での連携不足に課題があった。しかし、試合中はプレーに集中しているため、選手間で密なコミュニケーションをとることは難しい。また、強豪チームとの対戦では、ひとつの連携ミスやズレから簡単に失点につながってしまう。そこで、日々の練習のなかで、小さな連携ミスが発生したときは、すぐにその場で互いの意図を確認するように徹底した。さらに、メンバー同士で、どちらが正しいのか判断できないケースであれば、チームミーティングで、他のポジションメンバーの意見を聞くことで連携力の向上に取り組ん

できた。このような経験から、チームの連携力を高めるためには、積極的なコミュニケーションをとり、互いの意見や考えを確認し合うことが重要だと学んだ。

三つ目は、チーム全体を考えることである。当時、チームの目標が県大会でベスト8以上であり、そのためにチームでは「柔軟な対応力」の向上を目標に取り組んできた。これは、選手のミスや負傷交代など、想定外の状況があっても、常に前を向いて冷静に行動することである。特に強いプレッシャーのかかる試合では、想定外の状況に陥りやすく、このような状況でも「このチームであれば乗り切ることができる」とチームを信じてプレーすることが重要だ。そこで、チームの一体感を高めるために、私は、自分の事だけではなく、チーム全体の事に目を向けることを意識してきた。具体的には、落ち込んでいる選手には、積極的に声掛けをしたり、練習外の場面でも、相手の良い部分を見つけたらすぐに褒めるなど、チーム全体を考えた言動を心がけてきた。このように、日頃からチーム全体を考えて行動することが重要だと学んだ。

ブロック③

以上のように、私がA市職員になったら、これまでの経験で学び、身に付けてきた、チームワークを高める思考力と行動力を、住民対応の場面や、円滑な職場環境づくりに活かしていきたい。また今後、さらなる少子高齢化の進行のもと、行政は限られた人員と財源で複雑・多様化する行政課題に対応していかなければならない。そこで私は、企業やNPO、地域ボランティアなど様々な主体が協働できる関係づくりに貢献していきたい。

1292字

\ 全国の書店で好評発売中 /

全公務員試験対応 最短合格
公務員のライト

最強の
公務員試験対策
論文・作文

最強
シリーズ

図解×フルカラー

出題カバー率
97.8%

- ✓ 試験別の傾向分析
- ✓ 書き方を徹底解説
- ✓ 膨大な合格記載例

Amazon
ベストセラー
No.1
(2024年4月13日調べ)
公務員試験カテゴリ

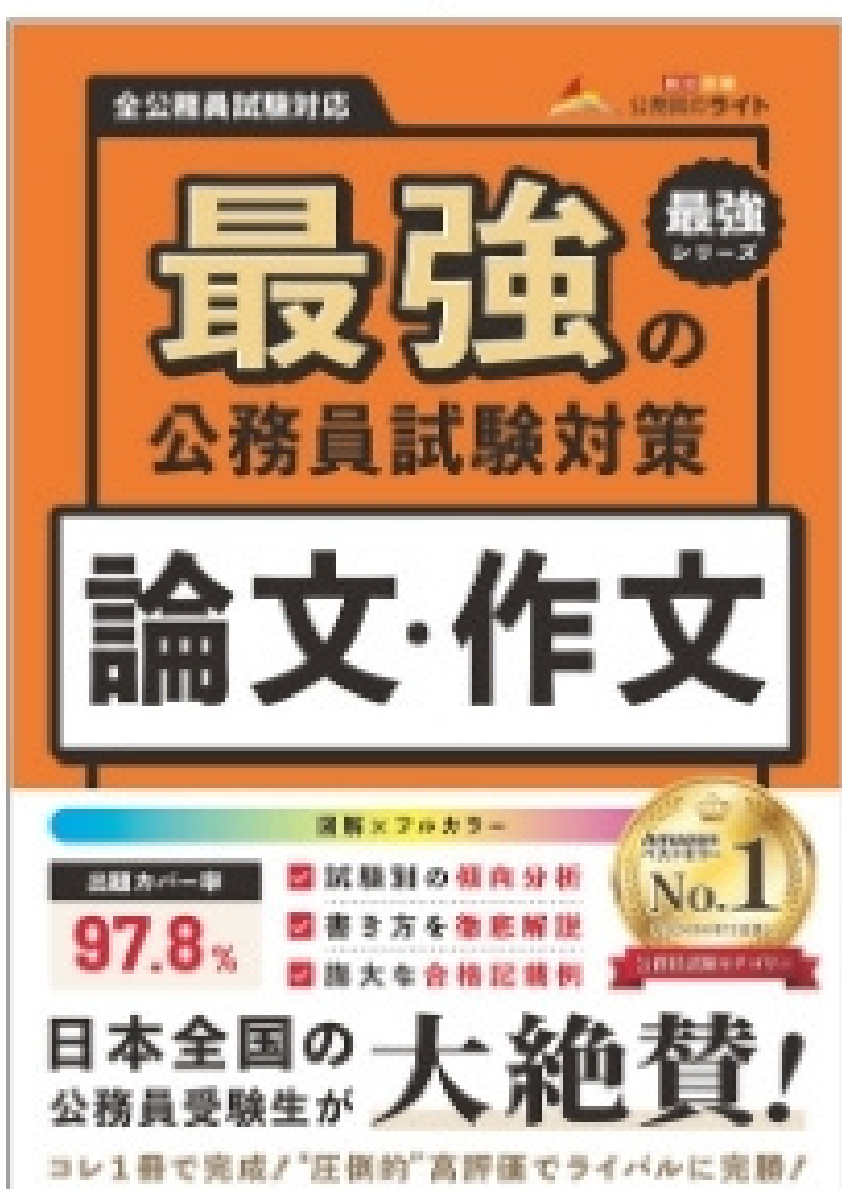
日本全国の
公務員受験生が **大絶賛!**

コレ1冊で完成!“圧倒的”高評価でライバルに完勝!

Amazonベストセラー6冊獲得! 公務員のライトによる

最強の
公務員試験対策 **論文・作文本** 出題カバー率
97.8%

これ1冊で完成



- 1 試験の傾向を学ぶ
- 2 論作文の書き方を学ぶ
- 3 テーマの知識を学ぶ
- 4 2週間で合格レベルへ!

公務員のライト専任講師
あらやん先生

続き

書籍の詳細はこちら▶

<https://amzn.asia/d/1XuE54k>

